

# Aコース 新吉田の緑と古刹めぐり

約3.3km



## 1 浄泉寺 新吉田東 3-28-32

浄土宗の寺院で清涼山法界浄泉寺。文禄2(1593)年開創。本尊は阿彌陀如来像です。昭和48(1973)年に本堂再建、昭和63(1988)年本堂増築と客殿が新築されました。

## 2 圓應寺 新吉田町 4098

真言宗の寺院で海照山圓應寺。開山開基は不明。本尊は千手観世音菩薩です。毎年、10月の体育の日に、古式にのっとり行われる“火渡り儀式”は、横浜市無形民俗文化財・認定団体です。旧小机領第十三番札所です。

## 3 吉田杉山神社 新吉田町 4509

創建年代は不詳。「武蔵国都筑郡杉山神社」は平安時代の延長5(927)年、「延喜式神名帳」に記載されている式内社です。江戸幕府が編纂した「新編武蔵風土記稿」に記録されている73社の杉山神社の中で、本社の有力候補の1社です。

## 4 御霊堂跡 新吉田町 80

永保3(1083)年~寛治元(1087)年の後三年の役で負傷し、この地で亡くなった鎌倉権五郎景政の御霊と、持仏の十一面観世音菩薩を祀り、延元元(1336)年にお堂を建てた跡地です。本尊十一面観世音菩薩、閻魔大王、弁頭河婆は、平成20(2008)年の子年観音開帳に合わせて正福寺領内へ移されました。

## 5 正福寺 新吉田町 4569

天台宗の寺院で皇宿山千手院正福寺。寺伝由緒はたびたびの火災で不明です。平成18(2006)年、新本堂再建時に本尊の木造釈迦如来坐像を修復したところ、仏像体内から貞享3(1686)年に書かれた木札が発見され、新本堂が320年ぶりに再建されたことが判明しました。

# Bコース 大倉山から自然と芸術を求めて新横浜へ

約6.0km

## 1 大倉山記念館 大倉山 2-10-1

昭和7(1932)年大倉重吉が大倉精神文化研究所として建設。横浜市有形文化財に指定されており、ギリシャ神殿風の外観や神社建築の木組みを用いたホールなど、見どころが多くあります。

## 2 大倉山公園梅林 大倉山 2-10

昭和6(1931)年、東京急行電鉄が梅林として公開。その後横浜市が取得。施設を整備し、平成元(1989)年に大倉山公園の一部として開園。32種、約200本の紅・白梅があり、春には観梅会が開催されます。

## 3 歓成院 大倉山 2-8-7

高野山真言宗の寺院で、妙智山法華寺歓成院。室町時代の永禄3(1560)年善通法印により開創されました。本尊は十一面観世音菩薩像で、鎌倉期の運慶作と伝わっています。旧小机領三十三観音霊場巡りの十二番札所、子年開帳です。クスノキ、銀杏、椿は横浜の名木古木となっています。

## 4 太尾神社 大倉山 2-16-1

大倉山には江戸期に鎮守様が6社あり、当地には杉山神社がありました。昭和33(1958)年に村社の神明社に他5社を合祀し、杉山神社の地へ移転、社名を太尾神社と改称。その後は氏子地域の発展に伴い社殿を修築、社務所等の施設が完備されました。祭神は天照皇大神、菅原道真公を始め、7柱の神様が祀られています。

## 5 太尾堤緑道 大倉山 7-40-1

鳥山川を埋め立てた後に、南北1.2キロの緑道に整備しました。この付近が徳川将軍家の鷹の調教等を行う「鷹飼場」でした。平成元(1989)年に開催された、第一回横浜彫刻展(ヨコハマビエンナーレ'89)で、緑道をイメージして制作された受賞作品8点を設置しています。ソメイヨシノ、八重桜、ジンダイアケボノなどの桜並木があり、春にはお花見も楽しめます。

## 6 太尾公園・太尾南公園 大倉山 7-40-1

港北水再生センターの下水処理場の屋上に造られた人工の公園です。太尾公園は平成元(1989)年に、地域住民のスポーツの活動拠点として整備され、定期的にプレイパークも開催されています。鶴見川側、太尾堤緑道側、どちらからも入ることができます。太尾南公園は平成11(1999)年に造られ、再生水のせせらぎと池があり、魚がいてカモもやってきました。晴れた日には富士山を見る事も出来ます。太尾堤緑道側から入りますが、エレベーターが設置されています。

## 7 横浜アリーナ 新横浜 3-10

平成元(1989)年に横浜市100周年記念施設として開業。収容は17,000人で、日本で初めてアリーナの名前が付けられた多目的イベントホールとして、コンサートやスポーツイベントなどが開催されており、日本建築業協会賞を平成2(1990)年に受賞し、「音響家が選ぶ優良ホール100選」にも選ばれました。平成28(2016)年にリニューアルオープンしました。



## 8 新横浜駅前公園 新横浜 1-16-1

鶴見川支流の鳥山川に沿った長さ1.5kmの細長い公園です。ワールドカップ大橋付近では、横浜桜もある桜並木が続いています。春になるとお花見で賑わっています。駅前公園という名前は、昭和50(1975)年に開園された当時、新横浜駅から見渡せたので「駅前」と名付けられました。

# Cコース 岸根から篠原へ歴史を訪ねて

約5.8km

## 1 岸根公園 岸根町 725

港北区のほぼ南端、神奈川区と接する位置にあり広さ約14ha。戦時中は陸軍の高射砲陣地が置かれ、戦後はしばらく米軍に接収されていました。昭和48(1973)年に返還され、その後整備し現在に至っています。横浜桜並木も植樹されています。

## 2 貴雲寺 岸根町 614

曹洞宗の寺で号は岸雲山貴雲寺。慶長3(1598)年、玄室宗頼により開山創建されました。本尊は薬師浄瑠璃光如来坐像。武南十二薬師霊場第一番札所となっており、12年ごとの真年に御開帳されています。

## 3 岸根杉山神社 岸根町 377

大永5(1525)年、伊豆の国の住人岩田五郎衛門が当地に移住した際に、鎮守として創建しました。祭神は五十猛命、大山新命です。

## 4 東林寺 篠原町 1252

曹洞宗寺院で、山号天香山・寺号東林寺。創建は建治元(1275)年。元は真言宗寺院、火災で消滅せしも、明応5(1496)年楞山周庵和尚により再建、曹洞宗に改め現在に至る。ご本尊は十一面観世音菩薩。

## 5 篠原八幡神社 篠原町 2735

建久3(1192)年、鈴木村の鎮守として同村会下谷に勧請奉斎し、鶴崎八幡と称しました。寛永8(1631)年、同村字表谷に社殿を建立し奉遷。寛文7(1667)年社殿を再建し、若宮八幡と称しました。祭神は応神天皇です。

## 6 観音寺 篠原町 2777

真言宗智山派の寺で号は八幡山観音寺。天正年間(1573~91年)に、祐覚和尚によって開基されたとの伝説があります。隣接する篠原八幡宮の別当寺としての歴史から推察すると、寺歴は更に遡るのではないかとされています。本尊は坐像の十一面観世音菩薩です。

## 7 長福寺 篠原町 2754

真言宗大覚寺派の寺で号は本願山長福寺。創建年代は不明ですが、慶長16(1614)年に再興したとあります。本尊は薬師如来で武南十二薬師八番札所です。金子氏の氏寺で、古くは三会所の末であったと言われています。

## 8 篠原城址緑地 篠原町 2557

創建年代は不明ですが、別名「金子城」とも呼ばれ、城主は小机城の篠原代官金子出雲と言われています。太田道灌が小机城を攻めた文明10(1478)年には、すでに小机城の山城としてあったのではないかとされています。



# Dコース 横浜七福神巡り

※全体のコースは全域マップを参照

約16.5km



## 1 興禅寺 高田町 1799 (高田駅から徒歩約12分)

天台宗の寺院で、園瀾山光明院興禅寺。仁寿3(853)年に慈覚大師が開山。七福神の「福祿寿」を祀っています。「福祿寿」は、幸福・俸禄(給与)・長寿を授けてくれます。杖を持ち、白い長いひげが特徴です。

## 2 金蔵寺 日吉本町 2-41-2 (日吉本町駅から徒歩約5分)

天台宗の寺院で、清林山仏乗院金蔵寺。平安時代初期に智証大師が開山。七福神の「寿老神」を祀っています。「寿老神」は、長寿・病氣平癒を授けてくれます。白い長いひげが特徴で、巻物をくっつけた杖を持ち、牡鹿を引き連れてきます。



## 3 東照寺 綱島西 1-13-5 (綱島駅から徒歩約3分)

曹洞宗の寺院で、綱島山東照寺。慶安2(1649)年に生外意鉄大和尚が開山。七福神の「布袋尊」を祀っています。「布袋尊」は、平和安穩・家庭隆盛を授けてくれます。大きな腹と大きな袋を持っているのが特徴です。

## 4 西方寺 新羽町 2586 (新羽駅から徒歩約7分)

真言宗の寺院で、補陀洛山安養院西方寺。建久元(1190)年に鎌倉笹目が開山。七福神の「恵比寿大神」を祀っています。「恵比寿大神」は、大漁・商売繁盛・旅行の安全を授けてくれます。唯一日本の神様で、烏帽子をかぶり、釣竿や大きな鯛を抱えるのが特徴です。

## 5 正覚院 大豆戸町 1160 (新横浜駅から徒歩約8分)

曹洞宗の寺院で、大豆戸山正覚院。天正元(1573)年に晩堂元龍大和尚が開山。七福神の「大黒天」を祀っています。「大黒天」は、商売繁盛・家門繁栄を授けてくれます。小槌を持ち、大きな袋を背中に抱え米俵に乗っているのが特徴です。

## 6 蓮勝寺 菊名 5-4-40 (菊名駅から徒歩約4分)

浄土宗の寺院で、菊名山蓮勝寺。正和4(1315)年に浄土宗第五祖蓮勝上人が開創。七福神の「毘沙門天王」を祀っています。「毘沙門天王」は、厄除け開運・家内安全・悪靈を退散させて財宝を授けてくれます。甲冑を着け怒りの形相で、鉾を持っているのが特徴です。

